

第4回 首都圏ARコンソーシアム シンポジウム

開催日時

2021年

4月17日 **土**

10:00 ~ 12:00 (9:40開場)

(Zoom Webinarにて開催)

※同日午後13時より第1回異分野融合セミナー・
マッチング会を開催致します。

別途のご案内となりますが、是非こちらもご参加下さい。

参加
無料

首都圏ARコンソーシアム (MARC)も発足から4年目となり、関係者の皆様のご協力・ご支援頂き、充実した組織となってまいりました。2年前からは連携協力機関の皆様にも参画頂き、今後は領域融合の機会を提供しながら革新的な医療シーズの創出に向けて推進していきたいと考えています。昨年コロナの影響により開催出来なかった、MARCシンポジウムですが、今回はオンラインにて「第4回MARCシンポジウム」を開催する運びとなりました。最新のMARC活動に関するご報告に加え、長く米国マサチューセッツ総合病院 (MGH)・ハーバード大学にてご活躍されておられる柏木哲先生よりご自身のハーバード大学でのご経験やMGHのテックトランスファeroフィスの活動につきご講演頂きます。

更には、これまでに2つの医療機器のFIHのご経験をお持ちで、かついくつもの医療機器開発に手掛けて来られた早稲田大学・梅津光生先生をお招きし、生体医工学の融合研究につきご自身のご経験を踏まえたご講演をして頂くこととなりました。皆様、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

シンポジウムプログラム

- 10:00 **開会挨拶** 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター長 **佐谷 秀行**
- 10:05 **MARC構成機関代表挨拶**
- 10:10 **首都圏ARコンソーシアム (MARC) の活動報告**
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター長 **佐谷 秀行**
- 10:30 **基調講演 1**
「Discovery to Patient Outcomes : マサチューセッツ総合病院・
ハーバード大学医学部での経験」
ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院放射線科 講師 **柏木 哲**
- 11:10 **基調講演 2**
「生体医工学の45年にわたる融合研究から学んだこと : What I learned
from my 45 years experience on biomedical engineering」
東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院 共同先端生命医科学前専攻長、
早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所顧問 **梅津 光生**

申し込み

下記の参加申込URLよりお申し込み下さい。お申し込み頂きました方には、別途当日のWebinar参加のご案内をお送り致します。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_4AyXo6efR0Sg_HCnlmtmtg

お問い合わせ先 : 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター内 首都圏ARコンソーシアム事務局

e-mail marc-jim@adst.keio.ac.jp TEL 03-5363-3961